研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-540		21-313	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

Effect of Lactobacillus casei on lipid metabolism and intestinal microflora in patients with alcoholic liver injury

アルコール性肝障害患者における Lactobacillus casei 菌の脂質代謝および腸内細菌叢への影響について

執筆者

Xuelong Li [1,2], Ying Liu [3], Xiaofei Guo [1], Yan Ma [1], Huaqi Zhang [1], Hui Liang [4]

掲載誌

Eur J Clin Nutr. 2021 Aug;75(8):1227-1236. doi: 10.1038/s41430-020-00852-8.

キーワード	PMID
腸内細菌叢、フローラ、アルコール性肝障害、脂質異常	33514869

要　旨

背景　本研究は、アルコール性肝障害患者の脂質代謝および腸内細菌叢に及ぼす Lactobacillus casei 菌の影響を検討することを目的とする。

方法　二重盲検無作為化比較試験において、158 名のアルコール性肝障害患者を、低用量群（LP、n＝58、Lactobacillus casei strain Shirota（LcS）100ml）、高用量群（HP、n＝54、LcS200ml）および陽性対照群（PC、n＝46、Lactobacillus casei 活性なしの特殊飲料 100ml）の 3 種類の治療に 60 日間ランダムに割り付けた。また、健常者 20 名を正常対照群(NC)とした。

結果　HP 群の血清中の TG と LDLC は PC 群に比べ、それぞれ 26.56%と 23.83%有意に減少した（P ＜ 0.05）。Lactobacillus casei の補充後、PC 群と比較して、Lactobacillus と Bifidobacterium の量が有意に増加した（P ＜ 0.05）。

結論　Lactobacillus casei の補給は、アルコール性肝障害患者の脂質代謝を改善し、腸内フローラの乱れを整えることができる。